

# 弘前大学学報



文京町 旧制弘前高等学校外国人教師館

第 10 号  
平成17年 1 月号

**学内ニュース**

- 年頭挨拶 ー弘前大学長 遠藤正彦ー ----- 1
- 平成17年度大学入試センター試験実施 ----- 3
- ひろさき産学官連携フォーラムー設立記念講演・設立総会を開催 ----- 4

**学 事**

- 学内紀要 ----- 5
- 外国出張 ----- 5

**諸 会 議**

----- 6

**人 事**

- 人事異動 ----- 9

**主要日誌**

----- 10

**学内規則**

- 国立大学法人弘前大学自家用電気工作物保安規程
  - 弘前大学学生総合相談室規程の一部改正
  - 弘前大学学生等保健管理規程の一部改正
  - 弘前大学保健管理センター規程の一部改正
  - 弘前大学学校医規程施行細則の廃止
- 11

---

## 年 頭 挨拶

平成17年1月4日

学長 遠藤 正彦

皆さん、新年おめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い致します。

本年は元旦に大雪が降りましたが、大荒れということもなく、まずまずの天候であったと思います。皆さんそれぞれすがすがしい新年を迎えられたと思います。

年頭に当たり、学長として所信を述べたいと思います。昨年は、国立大学法人化が行われ、我が弘前大学も教職員皆さんの一致した協力により、まずは無事に発足となりました。本学は、その理念の教育・研究・社会貢献を柱に、大学の自治と学問の自由を堅持するとの立場から、様々な仕組みをつくり実行に移し、一応の成果を挙げてまいりました。このことについて、改めて教職員の皆さんに心からの御礼を申し上げます。

しかし、今ここに第1期中期目標・中期計画の第1年目の決算期を目前にしてみると、予想されていた以上の様々な難問に遭遇しており、それらはこれからの本学の運営に暗雲をなげかけております。これらについて主な点を整理し、今後の取り組みについて概略を申し上げます。

まず第1の重要課題は、国立大学法人弘前大学の運営に関わる財政の件です。発足頭初より、脆弱な産業基盤を立地とする地方の国立大学法人、特に本学としては、国立大学法人の財政構造は受け入れがたいものでした。すなわち、国からの本学への少ない出資金及び本学の皆無に等しい自己資金、そしてまた少ない運営費交付金、自己収入及び外部資金は、国立大学法人発頭初から本学の財政を逼迫したものでしてまいりました。したがって、平成16年度、各学部等への予算配分額は前年度を下回り、少ない予算の下での国立大学法人化第1年目の出発となりました。しかし、今迫っている平成17年度の財政上の重要な問題は、第1に、人件費、物件費に対する効率化係数、いわゆる1%シーリングに対する対応、第2に、附属病院の2%の経営改善係数及び借入金の償還、そして第3に、昨年末、突然起こった授業料標準額改訂の件です。これらに対応するため、現在、平成17年度予算配分方法について検討を進めているところです。その予算配分の基本方針は、第1に、教育研究等の業務を効率的実施するために重点的配分を強化すること、第2に人件費及び物件費の徹底的経費節減とそれによって生じた余剰金のインセンティブな面での機動的運用、そして第3に受益者負担の増加という3本の柱を立てて実施するつもりであります。本学教職員には本学のおかれている財政状況について十分な御理解をお願い致します。

第2の重要課題は、教育の件です。現在、本県の少子化は一段と進んでおり、大学間格差と地域間格差を抱える本学にとりましては、喫緊の重要課題です。入学志願者減及び入学者定員割れは、第1に入学者の学力低下の招来、第2に第1期中期目標・中期計画終了時の評価の低下、第3に授業料、入学金、入学検定料等の自己収入の減等を伴うものです。この件に関して、数年来、本学では全学を挙げて本学のPR等取り組んでいるところですが、平成17年度入学者選抜学力試験の志願者募集に当たり、一層の御努力をお願い致します。

学生教育の内容そのものに関しては、現在コアカリキュラムの策定が進められているところですが、平成17年度からカリキュラム改訂可能な学部から実施に移していただきたいと思います。また、学生の就職に関しては、就職支援センターを中心に就職活動が一段と活発化していることは、内外からも高く評価されているところです。学生の教養、人格及び体力の形成に関わる課外活動やボランティア活動も、以前にも増して活発になってきたとみています。本学は社会に対して、社会の求める人材としての、卒業生の品質保証をすると明言しました。これが掛け声に終わらないように、しっかりとした人材育成に努めたいと思いますので、全学的に御協力をお願い致します。

第3の重要課題は、研究に関する件です。平成17年度の研究推進に関して、第1に、指定された重

---

点研究は3年を経過し、本学の特徴を示しつつありますので、産学官連携との関連において、一層の強化を図りたいと考えています。第2に、分析センターの充実については、理工学部及び農学生命科学部の協力の元に、地域共同研究センターに隣接した機器分析室の設置を進めております。そして、これに合わせて文部科学省の概算要求に頼らない仕組みによる高額大型機器の導入について、具体的検討に入っているところです。第3に、昨年研究支援のために設置された出版会のより一層の強化であり、それは2年目を迎え、現在既に4、5冊の学術書の出版準備が進められているところです。第4に、附属図書館の充実を進めていますが、これに合わせて本年4月1日開設をめざし、本学の前身旧制官立弘前高等学校の卒業生である太宰治についての「太宰治文庫（仮称）」の開設準備が関係者によって進められているところです。

研究成果の向上という点では、即効的方策はありませんが、しかし着実に研究成果は上がっているものと判断されますので、教職員におかれましては尚一層の御尽力をお願い致します。

第4の重要課題は社会貢献の件です。本学は地域共同研究センター及び生涯学習教育研究センターを中心に、社会貢献としての産学官連携と地域連携を進めてきました。昨年、本学では産学官連携に関しての多数のシンポジウムやセミナー、企業訪問等を実施してきたところですが、しかし本学が立地する地域の産業基盤の脆弱さからは、関係者の多大な努力にもかかわらず、他大学のように急速な共同研究の増加やこれに関わる自己収入の増加は得られませんでした。

したがって、産業基盤の脆弱な地域に存する本学としては、産学官連携の方向を見直す必要があると考えられます。その第1は研究経費の配分において重点研究として指定された研究は、3年目を終了するので、いよいよ産学官連携のための共同研究のシーズ化を図るところであり、第2は分析センターの大型分析機器の充実を図り、これをこの地域に開放して産学官連携の拠点とすることであり、第3には本学の有する東京、八戸、青森のサテライトの一層の多目的活用を図ること等であります。最近、青森県や弘前市を初めとする自治体や企業・諸団体の関係者により、本学の有する知的財産や人的財産の重要性と、本学の年間予算約300億円の地元経済に及ぼす影響について、再認識が進んでいるので、今後、地域との連携が一層進むものと希望をもちています。

更に、地域連携に関しましては、新年早々懇談した弘前市民から、昨年5月、藤崎農場で開催された「りんごとチューリップのフェスティバル」に老人や車イスの方も含めて3000人以上の方々が見学を訪れたこと、弘前大学が40年間にも及ぶその年々の「ねぶた絵」を保存しそれを一般公開したこと、第4回弘前大学総合文化祭に多数の市民が参加したこと、そして11月開催の「弘前大学国際音楽フェスティバル」の一環として『『とうほくうたのほん』再演』の音楽会に、みちのくホールに入りきれないほどの多数の市民聴衆が集まったこと等が高く評価されました。これと合わせて弘前大学文京町構内の公園化とその開放が一段と進んでいることが市民に喜ばれ、「弘前大学は本当に市民に開かれた大学になった」との高い賛辞をいただきました。この言葉に学長として素直に喜び、そして、この本学の地域連携を強力に押し進めている教職員の皆様に厚く感謝の意を表すと共に、益々の御支援をお願いします。

平成17年度の概算要求については、それは大変厳しいものであります。本学の財政については、初めにお話した通り厳しいものなので、この概算要求の内容と共に、平成17年度の大学運営は心して掛からなければならないと思っております。

最後に、この文京町構内に昨年4月移築されたばかりの、大正時代の建物である旧制官立弘前高等学校外国人教師館が、この2月、弘前公園で開催の雪灯籠祭りの大雪像のモデルとして選ばれました。弘前市民から弘前大学の理解が一段と進んだものと年頭に当たり喜んでおります。皆さんとこの雪灯籠祭りに参加したいと思っております。そして、学長は平成17年の弘前大学の前途に希望をもちますので、どうぞ御協力をお願い致します。

## 平成17年度大学入試センター試験実施

平成17年度大学入学者選抜大学入試センター試験が、1月15日（土）、16日（日）の2日間にわたり全国一斉に実施されました。県内では弘前大学、青森県立保健大学、青森公立大学、青森大学、青森中央学院大学、八戸大学、八戸工業大学及び北里大学獣医畜産学部の8試験場で実施されました。

試験両日は、特にトラブルもなく無事全日程を終了しました。

この後、本学の個別学力検査は、前期日程試験が2月25日（金）、26日（土）（合格発表は3月8日（火））、後期日程試験が3月12日（土）（合格発表は3月22日（火））に実施されます。

なお、本学が担当した大学入試センター試験の志願者及び受験者は、次のとおりです。

試験場		総合教育棟		理工学部	計 (受験率)
		(農学生命科学部担当)	(教育学部担当)	(理工学部担当)	
志願者数		385 人	540 人	562 人	1,487 人
1 月 15 日 (土)	外国語	356	492	530	1,378 (92.7%)
	地理歴史	270	390	431	1,091 (73.4%)
	理科①	216	276	320	812 (54.6%)
	理科②	220	299	312	831 (55.9%)
	理科③	180	258	297	735 (49.4%)
1 月 16 日 (日)	国語	348	482	520	1,350 (90.8%)
	数学①	346	465	492	1,303 (87.6%)
	数学②	319	422	443	1,184 (79.6%)
	公民	261	361	380	1,002 (67.4%)

## ひろさき産学官連携フォーラム発足 ー設立記念講演・設立総会を開催ー

本学地域共同研究センターでは、弘前市商工観光部と連携し弘前地域の産業振興を目的に、企業、大学、公的研究機関の連携による共同開発や商品・新産業創出を促進する「ひろさき産学官連携フォーラム」を発足し、1月17日（月）創立五十周年記念会館みちのくホールにて設立総会と記念講演会を開催しました。

設立記念講演会・設立総会には、弘前市周辺の産業界や行政職員ら関係者約150名が出席し、弘前市商工観光部の油川亜夫部長から「産学官連携の基盤を構築し、新たな産業の芽が出る土壌の広がりを期待する」旨、地域共同研究センターの加藤陽治センター長から「地域の経済環境は厳しい。これまで以上に産学官連携の強化が必要」な旨、それぞれあいさつがありました。

また、総会に先立ち、教育学部の比良木高幸教授が「デザイン力とヒット商品ー経営資源としてのデザイナー」と題して記念講演を行いました。

フォーラムは弘前市商工労政課と地域共同研究センターが中心となって設立の準備を進めてきたもので、今後は（1）講演会や先進地の視察（2）会員グループによる研究会の活動（3）共同研究支援活動ーを予定しており、幅広い分野での産学官ネットワークの構築による地域経済の活性化が期待されます。



設立総会であいさつする加藤地域共同研究センター長

## 学内紀要

農学生命科学部の研究紀要が、次のとおり刊行されました。

弘前大学農学生命科学部学術報告第7号(2005年1月28日発行)  
(Bulletin of The Faculty of Agriculture and Life Science, Hirosaki University No.7)

## 外国出張

職名	氏名	渡航目的	目的国	期間
助教授 (人)	城本 るみ	第108回日本社会分析学会例会出席及び現代中国論に関する資料収集	台湾	16.12.24 ~ 16.12.28
助教授 (人)	羽瀧 一代	携帯電話利用と親密性に関する調査	香港	16.12.25 ~ 16.12.30
教授 (人)	木村 宣美	第79回アメリカ言語学会(LSA2005)参加	アメリカ合衆国	17. 1. 5 ~ 17. 1.11
助教授 (人)	羽瀧 一代	携帯電話利用と親密性に関する調査	台湾	17. 1.13 ~ 17. 1.20
助教授 (人)	森 樹男	デンマーク及びスウェーデンの中堅中小デザイン型企業のビジネスモデルの調査	デンマーク王国 スウェーデン王国	17. 1.23 ~ 17. 1.31
教授 (医)	宮越 順二	電磁場生体影響評価に関する研究打合せ, The Bioelectromagnetics Society ウィンターワークショップ及び同理事会出席	アメリカ合衆国	17. 1.31 ~ 17. 2. 7
助教授 (理工)	小松 尚夫	海外先進教育研究実践支援プログラム 「若手教育者による先進教育の実践と研究展開」	英国	17. 1.11 ~ 17. 7.30
教授 (農生)	青山 正和	海外先進教育研究実践支援プログラム 「若手教育者による先進教育の実践と研究展開」	英国	17. 1.25 ~ 17. 8.31

---

## ■ 諸 会 議

### 役員会

1月17日(月)

#### 審議事項

- 1 国立大学法人弘前大学の中期目標・中期計画の変更手続きの承認について
- 2 国立大学法人弘前大学職員就業規則の一部改正についての承認について
- 3 「平成17年度国立大学法人弘前大学予算配分方針について」の経営協議会への付議について
- 4 弘前大学学位規則の一部改正についての承認について
- 5 授業料について

#### 報告事項

- 1 (社)国大協臨時東北地区支部会議について
- 2 平成17年度収入・支出予算額について
- 3 文京町地区道路等の名称募集変更(案)について
- 4 平成17年度海外先進教育研究実践支援プログラムへの対応について

1月24日(月)

#### 審議事項

- 1 平成17年度国立大学法人弘前大学予算配分方針について
- 2 授業料標準額の改定について

1月31日(月)

#### 審議事項

- 1 「国立大学法人弘前大学管理運営規則の一部改正」ほか7件についての教育研究評議会への付議について
  - ・国立大学法人弘前大学管理運営規則の一部改正
  - ・弘前大学学位規則の一部改正
  - ・弘前大学21世紀教育履修規程の一部改正
  - ・弘前大学国際交流科目履修規程の一部改正
  - ・弘前大学人文学部規程の一部改正
  - ・弘前大学教育学部規程の一部改正
  - ・弘前大学大学院理工学研究科規程の一部改正
  - ・弘前大学地域共同研究センター規程の一部改正
- 2 授業料標準額の改定について
- 3 名誉博士の推薦について

### 教育研究評議会

1月11日(火)

#### 審議事項

- 1 中期目標・中期計画の変更について
- 2 留学生センター長候補者の推薦について
- 3 その他

#### 報告事項

- 1 教員人事について
  - (1) 教員の採用・昇任
- 2 平成17年度予算内示について
- 3 授業料について
- 4 学生の懲戒処分について
- 5 平成17年度総合文化祭の実施日及び休講措置について
- 6 平成17年度海外先進教育研究支援プログラムの対応について
- 7 日本学術会議東北地区会議について

- 
- 8 国連大学の開催について
  - 9 委員会報告
    - (1) 21世紀教育センター運営委員会
    - (2) 教育・学生委員会
    - (3) 研究・施設マネジメント委員会
    - (4) 入学試験委員会
  - 10 その他

#### 経営協議会

1月18日(火)

##### 審議事項

- 1 平成17年度国立大学法人弘前大学予算配分方針について
- 2 その他

##### 報告事項

- 1 平成17年度予算内示について
- 2 授業料標準額の改定について
- 3 その他

#### 学長選考会議

1月18日(火)

##### 審議事項

- 1 学長選考規程について
- 2 その他

#### 教育・学生委員会

1月26日(水)

##### 議 題

- 1 ミネソタ大学・南フロリダ大学等の視察について
- 2 指導教員の手引き(クラス担任マニュアル)について
- 3 学生表彰の選考について
- 4 課外活動団体の学外功労者の選考について
- 5 平成17年度授業開始までの日程について
- 6 その他

##### 報告事項

- 1 全学教員養成担当の実施方針等について
- 2 学生による授業評価アンケートの12大学共通フォーマットについて
- 3 学生の窃盗事件について
- 4 平成17年度自己評価実施要項について
- 5 その他

#### 研究・施設マネジメント委員会

1月7日(金)

##### 議 題

- 1 平成16年度研究推進白書(仮称)について
- 2 平成17年度年度計画について
- 3 富田通りの生垣について
- 4 化学物質等安全管理説明会の報告について
- 5 冬季の省エネルギー対策について
- 6 平成17年度施設整備等に係る予算内示について
- 7 その他

- 
- 3 文京町地区道路等の名称募集変更（案）について
  - 4 その他

報 告

- 1 弘前大学学術研究奨励基金について
- 2 知的財産創出本部について

社会連携委員会

1月17日（月）

議 題

- 1 本学の社会連携ポリシーについて
- 2 平成17年度年度計画について
- 3 弘前大学と弘前市との関わり調査（平成16年度）について
- 4 全国高等学校総合文化祭について
- 5 正門設置寄贈モニターの利活用について
- 6 その他

報 告

- 1 ひろさき産学官連携フォーラムについて
- 2 青森県商工労働部新産業創造課からの要請に対する本学の対応について
- 3 その他

21世紀教育センター運営委員会

1月20日（木）

報告事項

- 1 センター長報告
- 2 専門委員会報告
  - (1) 教務専門委員会
  - (2) FD・広報専門委員会
  - (3) 点検・評価専門委員会
- 3 教育・学生委員会報告
- 4 科目主任会報告
- 5 その他の報告

審議事項

- 1 弘前大学21世紀教育履修規程の一部改正について
- 2 平成17年度学外非常勤講師資格審査について
- 3 平成17年度非常勤講師による授業計画について
- 4 平成17年度ティーチング・アシスタントによる授業計画について
- 5 平成17年度履修マニュアルについて
- 6 平成17年度21世紀教育の運営等に係る経費について
- 7 平成17年度年度計画について
- 8 その他

# 人 事 異 動

## [採用]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
17. 1. 1		高 橋 郁	事務職員(術・医)
17. 1. 16		平 優 子	事務職員(理工)
17. 1. 22		尾 崎 聡 子	事務職員(教育)

## [昇任]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
17. 1. 1	助手(医学)	梅 田 孝	講師(医学)

## [休職]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
17. 1. 1	事務職員(農生)	田 中 雄 一	[期間延長]17.2.28まで

## [育児休業]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
17. 1. 22	事務職員(教育)	差 波 久 美 子	18.7.31まで

## [退職・離職]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
17. 1. 22	事務職員(教育)	尾 崎 聡 子	退職(17. 1. 21限り任期満了)
17. 1. 31	助教授(医学)	四 ッ 柳 高 敏	辞職
17. 1. 31	助手(医学)	西 江 信	辞職
17. 1. 31	助手(病院)	渡 邊 学	辞職

---

## ■ 主要日誌

- 1月4日 仕事始め  
新年互礼会
- 5日 センター試験監督者説明会，事務担当者説明会，実施本部説明会
- 7日 学長オフィスアワー  
退職準備説明会  
留学生センター運営委員会
- 11日 第177回岩手大学大学院連合農学研究科代議員会（岩手大学）  
連絡調整会議  
教育研究評議会
- 12日 学長定例記者会見
- 13日 第14回組換え DNA 実験講習会（～14日 遺伝子実験施設）  
事務連絡会議  
21世紀教育教務専門委員会
- 15日 平成17年度大学入試センター試験
- 16日 平成17年度大学入試センター試験
- 17日 役員会
- 18日 学長選考会議  
経営協議会  
21世紀教育 FD・広報専門委員会
- 20日 平成16年度給与関係事務処理状況調査（事務局）  
学長オフィスアワー  
21世紀教育センター運営委員会
- 24日 役員会  
入学願書受付（～2/2まで）
- 25日 平成16年度給与関係事務処理状況調査（人文・理工・農生）
- 26日 教育・学生委員会
- 27日 平成16年度内部監査（予備調査）（医学部）  
理工学研究科修士課程（二次募集）入学試験  
農学生命科学研究科（二次募集）入学試験  
平成16年度給与関係事務処理状況調査（生物共生教育研究センター）
- 28日 理工学研究科修士課程（二次募集）入学試験
- 29日 推薦入学Ⅱ試験（医学部）
- 31日 平成16年度国立大学附属病院長会議「東北・北海道地区」会議（山形大学）  
役員会

---

## 学内規則

(平成16年12月9日制定)

### ○ 国立大学法人弘前大学自家用電気工作物保安規程

(平成16年12月9日改正)

(平成16年10月1日施行)

### ○ 弘前大学学生総合相談室規程の一部改正

- ① 事務組織（医学部を除く）の再編により学部の学務系事務が学務部に一元化されることに伴い、相談員の選任方法を変更するため
  - ② 相談員の区分を男女に変更するため
- 以上の理由によりこの規程の一部を改正した。

(平成16年12月9日改正)

### ○ 弘前大学学生等保健管理規程の一部改正

職員の健康管理及び学校医等に関する事項を整理し、学生の健康診断に係る事項のみ規定するため、この規程の条文の一部を改正するとともに、規程の名称を変更するためこの規程の一部を改正した。

(平成16年12月24日改正)

(施行日平成17年4月1日)

### ○ 弘前大学保健管理センター規程の一部改正

- ① 学校医等に関する事項を本規程に追加することとし、学校医規程を廃止するため
  - ② 労働安全衛生法に定める産業医と保健管理センターの連携を密にするため、産業医等連絡会議を置くため
  - ③ 保健管理センター分室に関する事項を整理するため
- 以上の理由によりこの規程の一部を改正した。

(平成17年4月1日廃止)

### ○ 弘前大学学校医規程施行細則の廃止

学校医に関する事項を保健管理センター規程に規定することから、学校医規程を廃止することに伴いこの細則を廃止する。

弘前大学学報第10号

弘前大学総務部総務課  
036-8560 弘前市文京町1  
電話 (0172)36-2111